

原発埼玉県民投票準備会 趣意書

福島原発事故を体験した私たちは、その教訓を未来に対してどう示すのかが問われています。未だ事故収束もできない中、政府は原発の再稼働の準備を推進しています。そんな現状だからこそ、「原発の是非」について、県民一人ひとりが向き合い、考え、自らの意思表示をするため、県民投票が必要なのです。

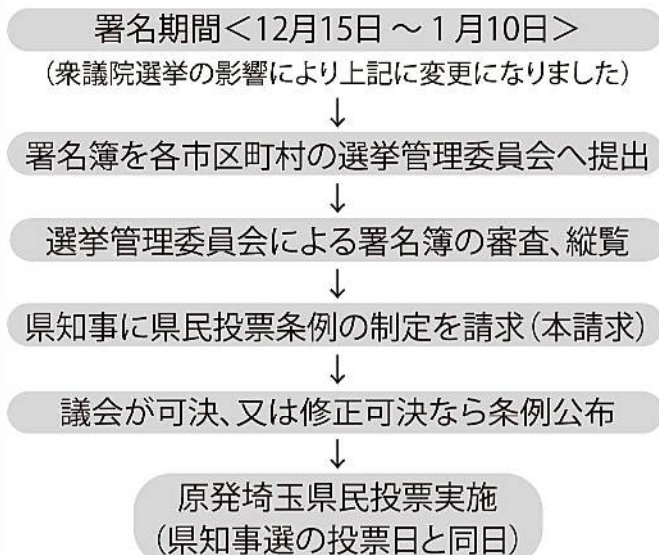
選挙で住民代表が議員となり、「住民の意思」は、そこで実現される仕組みです。しかし、現実には、有権者が望む政策は中々達成されません。原因は多くの政策メニューと議席を持つ大政党の影響で、政策の優先順位が変わってしまうからです。選挙は、政治家を選ぶのに対して、住民投票は、たったひとつの政策や課題について住民が直接意思表示する仕組みです。

私たち埼玉県民は、福島原発事故により放射能の影響を受ける当事者となり、今も空気と水と食料を通じて被ばくを受け続けています。埼玉県は電力の消費地でありながら、同時に地熱、水力、バイオマス、太陽光と自然エネルギー政策を主体的に選択できる立場にあります。

私たちは、直接請求を権利行使の仕組みとして、また、「原発埼玉県民投票」を世界と次の世代のため、自らに課せられた今に生きる者の責任として取り組みます。



署名から県民投票までの流れ



署名するにはどうしたらいいの？

1、街頭署名・地域の署名スポットで署名

◎各地の駅頭、署名スポットなどで署名活動を行っています。

(H.P.内<署名スポット&説明会><ブログ>で活動場所を確認)

2、事務局に署名簿を送ってもらう

◎「原発埼玉県民投票準備会」に電話、メール、FAXで署名簿をご請求下さい。署名簿をお送りします。

◎ご自分と同じ市区町村にお住まいの方の署名を集めることが出来ます。ぜひ、ご家族、ご近所の方の署名も一緒に集めてご返送ください。

3、戸別訪問について

◎戸別訪問に伺うこともありますので、ご協力お願いいたします。

私たちも応援しています！

- 朝霧 裕 (シンガーソングライター)
- 飯田 哲也 (認定NPO法人環境エネルギー政策研究所所長)
- 伊藤 恭一 (前埼玉生協連会長)
- 井戸川 克隆 (前双葉町長)
- 上原 公子 (脱原発をめざす首長会議事務局長・元国立市長)
- 宇都宮 健児 (弁護士・元日弁連会長)
- 金子 勝 (立正大学名誉教授)
- 川根 真也 (内部被ばくを考える市民研究会)
- 轡田 隆史 (ジャーナリスト・元朝日新聞論説委員)
- 小出 重義 (弁護士・元埼玉弁護士会会長)
- 清水 泉 (生活クラブ生協理事長)
- ダニー・ネフセタイ (木工家・原発止めよう秩父人)
- 千葉 麗子 (元「原発」都民投票請求代表)
- 中島 修 (団体役員)
- 日森 文尋 (元衆議院議員)
- 孫崎 享 (元外交官僚)
- マエキタ ミヤコ (サステナ代表)
- 村田 光平 (元スイス大使)
- 山木 きょう子 (「原発」都民投票の会共同代表)
- 横尾 和博 (文芸評論家・ジャーナリスト)

スタッフ・サポーター募集！

この活動はすべて一般市民のボランティアによって成り立っています。チラシ配り、街頭署名お手伝い、署名簿づくり、PC作業などなど、ご自分のできる範囲で、力をお貸し下さい。

お問合せ

TEL / 070-5083-9364 / 070-5598-9846

Mail / kenmintohyosaitama@gmail.com

カンパをお願いします。

寄附受付(ゆうちょ銀行)

郵便振込取扱票使用の場合:00190-9-765016

口座名義:原発埼玉県民投票準備会

他行等からの振込は、

0三八(ゼロサンハチ)店 普通口座 0261358

